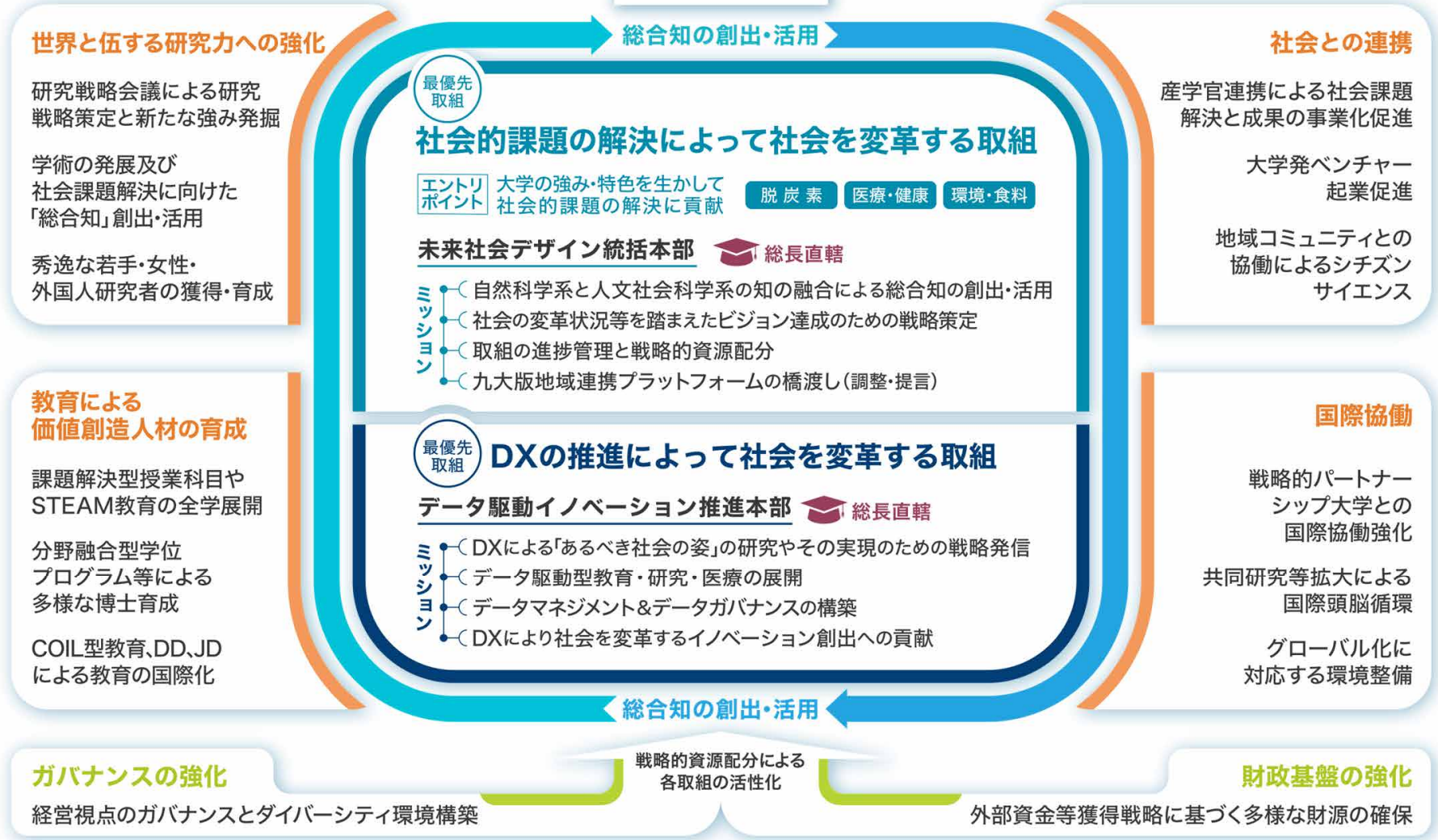


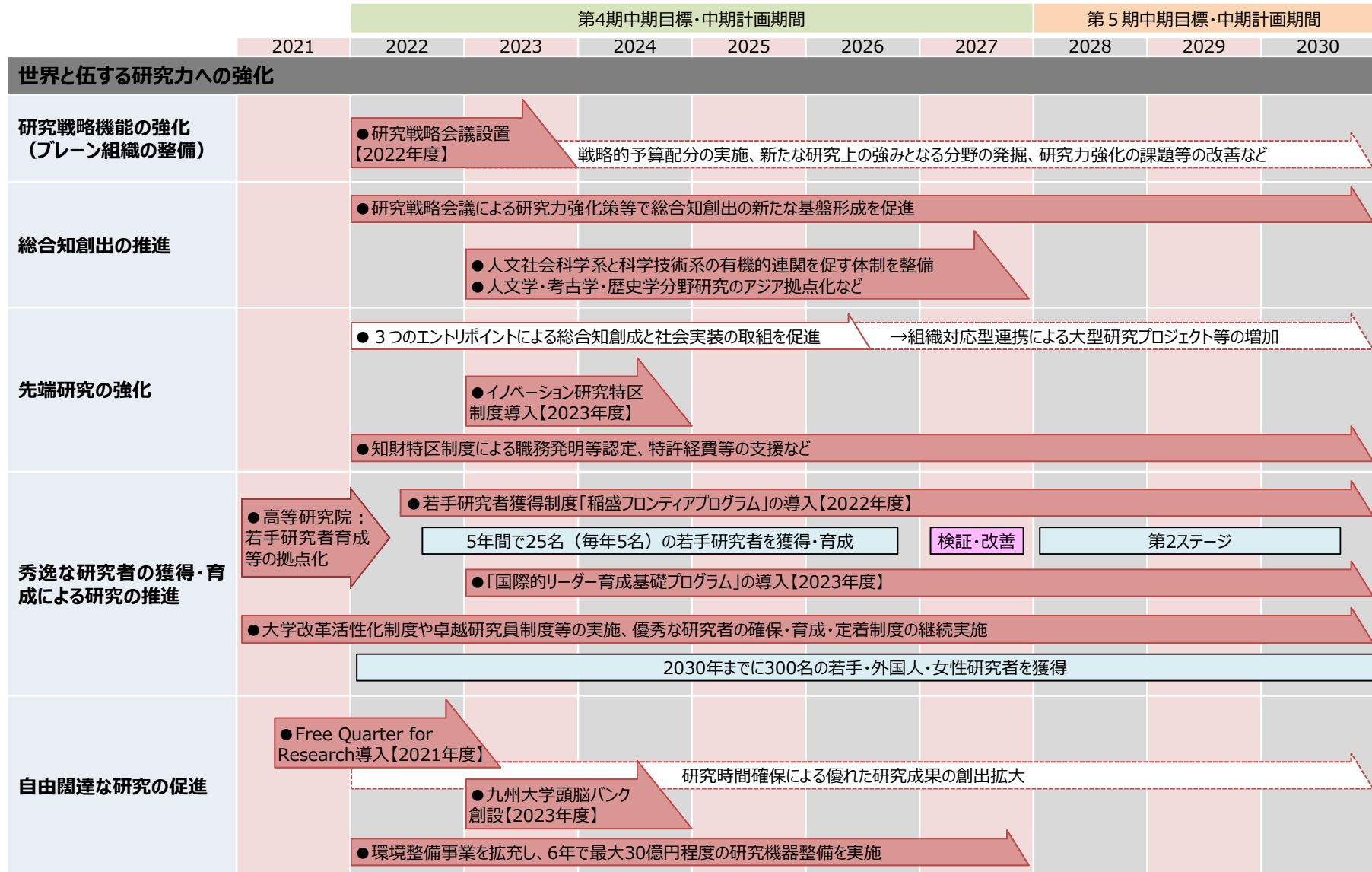
総合知で社会変革を牽引する大学へ

- 目標Ⅰ 世界最高水準の研究教育を展開する知のプラットフォームとなる
- 目標Ⅱ 新たな社会・経済システムを創出するイノベーション・エコシステムの中核となる





	2021	第4期中期目標・中期計画期間					第5期中期目標・中期計画期間				
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
総合知による社会変革											
推進基盤の整備		<ul style="list-style-type: none"> ●未来社会デザイン統括本部設置【2022年度】 学内資源の重点配分による取組の促進など、社会的課題解決の全体マネジメント ●データ駆動イノベーション推進本部設置【2022年度】 DX戦略の策定、取組の実行など、DXの全体マネジメント 									
		多様な外部ステークホルダーからの意見聴取による取組等の改善									
社会的課題の解決によって社会を変革する取組	●3つのエントリーポイントで課題解決の取組展開	<ul style="list-style-type: none"> ①脱炭素：要素研究群によるエネルギー変換、省エネ、インフラ技術など脱炭素化の社会実装を見据えた取組を展開 ②医療・健康：疾患予測・早期発見、身体機能維持・遠隔医療、精密医療・革新的治療の取組を展開 ③環境・食料：大気・海洋環境研究や食料農学研究により環境問題や食料問題などの解決に向けた取組を展開 									
		→福岡・九州で始め、同様の課題を有する日本、アジア、世界の地域で展開									
DXの推進によって社会を変革する取組		分野・組織を越えたデータの相互提供・活用									
		<ul style="list-style-type: none"> ●データマネジメント・データガバナンス等の整備、ICT専門人材の育成 ●データ駆動型の教育・研究・医療の展開 									
		→取組成果を活用したDXによるイノベーションへの貢献など									
教育による価値創造人材の育成											
課題解決・価値創造する視点や発想を学ぶ教育の展開		課題解決型授業科目を全学導入【2025年度以降】									
		●課題解決型授業科目の体系化									
		●STEAM教育の検討・展開									
多様な博士人材の育成		●アントレプレナーシップ教育の充実 ●授業科目の統合等によるカリキュラム・マネジメントの実施									
		●マシ・フォア・イノベーション卓越大学院設置【2022年度】				●卓越社会人博士課程制度導入【2024年度】					
		●産学官共創による教育の充実 ●博士課程学生のキャリアパスの多様化の促進									
教育の国際化とグローバル環境の促進		留学生受入人数：2,422人（約12%） 外国人等教員数：約1,000人（約42%）				●ジョイントイニシアチブプログラム設置【2025年度】			留学生受入人数：3,200人（約17%） 外国人等教員数：1,500人（約63%）		
		●学部・大学院の国際コース、国際プログラムの充実、ダブルディグリー・プログラムの拡充による留学生の受入拡大									



①国際共著論文 直近5年：6,892報
 ②Top10%ジャーナル論文 直近5年：6,560報
 ③若手研究者：24%、女性研究者：14%、外国人研究者：6%

①国際共著論文 直近5年：10,000報
 ②Top10%ジャーナル論文 直近5年：9,000報
 ③若手研究者：30%、女性研究者：25%、外国人研究者：10%



	2021	第4期中期目標・中期計画期間					第5期中期目標・中期計画期間			
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
社会との連携										
オープンイノベーション推進機能の強化		●オープンイノベーションプラットフォーム（OIP）創設【2022年度】		イシュードリブ、サイエンスドリブによる取組の展開支援						
				●新外部法人設立【2024年度】		OIP支援部門の外部法人化で事業継続性を担保				
社会実装化の促進と財務基盤の強化		●総長のトップセールスによる組織対応型連携締結、大型共同研究招致、ベンチャー支援ファンド設立								
		●次世代大学発ベンチャー事業シース [®] 育成支援プログラム導入【2021年度】		プレCXOによる採択案件の事業化検証、プレCXO人材の育成						
		①共同研究費受入額：25億円 ②大学の研究成果発ベンチャー起業数 直近5年：15社				①共同研究費受入額：50億円 ②大学の研究成果発ベンチャー起業数：50社以上				
シチズンサイエンスの展開		●サイエンスカフェ等のアウトリーチ活動、地域コミュニティとの社会実験的な研究教育活動の実施								
国際協働										
戦略的な国際協働による国際頭脳循環の加速		●Ei [®] テンハブ [®] の国際戦略策定【2021年度】		グローバルアドバイザーボードからの意見聴取による戦略、取組等の改善						
		●海外マッチングファンドで重点的に大学間交流を行う海外大学との国際協働の拡大								
		●国内随一の研究教育環境を活用した留学生・外国人研究者の受入拡大 ●クロスアポイントメントによる国際共同研究の促進								
国際頭脳循環を促す環境等の整備		●日本人・留学生混住の寮の整備 ●留学生・外国人研究者と日本人学生・研究者の交流等の促進								
			●フェロースhip制度新設【2023年度】		海外同窓生研究者による滞在型研究機会の増加					

